

# 栃木県生協連・2013年度1月定例報告

2013年1月11日  
栃木県連 専務 鎌柄

## (1) 12月活動日誌

日付	曜日	日誌
12月1日	土	ECOテック&ライフとちぎ2012出展
12月2日	日	ECOテック&ライフとちぎ2012出展
12月3日	月	関東農政局宇都宮地域センターと消費者団体との意見交換会、MCA無線訓練
12月4日	火	地連県連活動推進会議、宇都宮市食品安全推進連絡会
12月5日	水	食の安全ネットワーク消費者セミナー(栃木・JA)、国際協同組合記念・協同組合交流会
12月7日	金	食の安全ネットワーク消費者セミナー(宇都宮・地婦連)
12月8日	土	いわき四倉工業団地仮設でのお茶会、宇都宮市職員生協・生協まつり
12月9日	日	全労済・国際協同組合年職員研修会
12月10日	月	食の安全ネットワーク消費者セミナー(宇都宮・JA)
12月11日	火	県連くらし部会、とちぎ食の安全ネットワーク全体会、栃木県労福協幹事会
12月13日	木	県連地域部会、県職員生協県の定期検査
12月14日	金	福祉センター防災訓練
12月17日	月	ワーキングチーム会、県連理事会、第5次中計委員会
12月18日	火	栃木放送番組審議会、食と農をつなげる会(JA女性会・生協連)、消費者グループフォーラム実行委員会
12月19日	水	全労済東京本部・防災学習会
12月21日	金	県里めぐりモニター会議、小山市生物多様性協議会
12月22日	土	ふれあいお茶会
12月25日	火	とちぎ消費者ネットワーク幹事会・条例試案検討委員会

## (2) 12月活動の概況

### (会員等の動き)

12月8日(土)宇都宮市職員生協では、市の職員会館で第18回「生協まつり」が盛会の内に開催された。食料・衣料・雑貨の展示販売、抽選会、子供ゲームコーナー、食事コーナーと楽しい催しが行われ組合員への感謝企画となった。

12月9日(土)全労済栃木県本部では、「本部経営委員・職員研修会」を開催された。国際協同組合年企画で「賀川豊彦が今、問いかけるもの」として、青山学院大学経済学部の本間照光教授が講演をされ、保険共済について社会の共同業務としての話がされた。

### (部会等の取り組み)

12月1～2日県連くらし部会で、ECOテック&ライフ2012に出展した。出展8年目を迎えた。3つの地域生協で、パネル展示と来場者へのクイズや説明、話を聞いて

ていただいた方にプレゼントを行った。とちぎコープは「フードマイレージ」、よつ葉生協は「地球環境を守るために」、生活クラブ生協は「未来に向けて」をテーマに取り組まれた。全体では、67団体の出展と1〜2日両日通して3,560名の来場者があった。

12月11日県連定例くらし部会が開催された。E C Oテックの振り返り、食と農をつなげる会の対応、活動交流などが行われた。

12月13日県連地域部会が開催された。今回はパルシステム茨城のみとセンターの見学会として行われ、5会員1県連9名の参加があった。新築されたみとセンターは、県の福祉の町づくりの中に建設され、大きな会議室があり地域に開かれた施設として地域の行事にも活用されていた。敷地は2千坪、建物700坪含めて、約6億円の投資で、設計から組合員参加で行われたとの事だった。事業規模は供給約20億円、24コース、ソーラー発電も検討中、生協全体では福祉のアクションプランづくりを行っていく事や、地域の見守りなど協定締結自治体の拡大に取り組まれていた。4地域生協の10月までの累計実績では、前年クリアが1生協、前年割れが3生協と下期厳しさが増している。

#### (宇都宮市内と福島県から避難されている方々のふれあいお茶会)

12月22日(土)ふれあいお茶会が特養みどりで開催された。今回はクリスマス企画で、土曜日開催となりハーモニカ演奏、ビンゴゲーム、リースづくりなども企画された。大人60名(特養の入居者の方含む)、子供14名、合計74名、新規の方14名だった。協力者、スタッフは13名。反省会では、子供も手伝いをしてくれて、楽しめたようだ。自主避難の方に情報が充分届いていないようだ。県内の他地域で継続が難しくなっている所があるとの報告もあった。

#### (いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

12月8日(土)第10回目いわき市四倉中核工業団地仮設でのお茶会を開催した。参加スタッフは、とちぎコープ6名、県連2名の計8名、車はとちぎコープの1台でいわきに向かった。参加された方は大人10名(内男性2名)、子供2名だった。季節的に鍋は良かった。今回は入り口で見ているお父さんに声をかけたが入ってもらえなかった。継続の方々にフェルトを使ったリースづくりの手芸を楽しんでもらえた。入居者自体が減っている印象で、残られている人の気持ちはどうだろうとの話も出された。

#### (食の安全課題の関連)

「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」12月は、J A栃木中央会を開催団体に2会場(4日栃木、10日宇都宮)、栃木県地婦連を開催団体に1会場(7日宇都宮)で開催された。J A栃木中央会を開催団体とするセミナーは、講師を獨協医科大学R Iセンターの高橋克彦教授がされ、両会場とも参加者の質問に丁寧にお答えをいただいた。2会場とも約50名の参加だった。

7日の栃木県地婦連が開催団体とするセミナーは、3会場とも農林水産省山田友紀子技術総括審議官にお願いし、今回の宇都宮会場が1回目となった。農水省の最新のデータも含めてお話をいただいた。多くの質問にも答えていただいた。会場も大きく参加者は、174名と今までのセミナーの中で一番多い参加者数だった。

(消費者セミナー・12月7日  
地婦連宇都宮会場の講師は  
農水省山田友紀子技術総括審議官  
174名の参加があった。)



12月11日食の安全ネットワーク全体会が、漬物製造業の荒井食品の工場見学会を兼ねて開催された。10団体、25名の参加があった。1981年から創業33年、売上28～29億円、製造5千トン(原料は国産、韓国産、タイ産あり)、従業員82名、生協はじめ大手流通との取引あり、原料のなす生産では20数のなす部会を設けて、栽培マニュアルの提供、ハウス→露地の作型リレー、目揃え会、中間検討会、反省会などきめ細かく取り組まれていた。とちぎハサップの取得、放射性物質の検査などネットワーク内での報告は複数回いただいているが、現地での見学で気づくかされることも多かった。受け入れに感謝をしたい。

#### (消費者課題の関連)

12月25日消費者ネットワーク幹事会が開催され、関東弁護士連合会の栃木県内のお二人の弁護士が参加された。2月2日の消費者シンポジウム(基調講演の講師は栃木市鈴木俊美市長)の内容の確認、2月7日消費者グループフォーラムなどの参加について、意見交換と確認がされた。

同日開催の消費者ネット・第4回消費生活条例試案検討委員会では、第3回に続いて消費生活条例試案の構成と内容について、意見交換が行われた。

#### (国際協同組合理年)

12月5日(火)栃木県実行委員会の最後の記念事業として「協同組合交流会」が開催された。Ⅰ部では報告会として、JAグループ栃木から3名、県森連と県漁連から1名、県労福協グループから1名、県生協連グループから2名、それぞれ中堅の職員、青年部役員、女性会役員、女性理事と7名の方から実践報告がされた。Ⅱ部は懇談会として開催され、来賓として栃木県入内澤滋夫県民生活部長から挨拶をいただいた。その後、参加者及び各団体の紹介が行われ、協同組合間の交流の場となった。

12月16日第16回国際協同組合理年ワーキングチーム会が開催された。2012年度上期のまとめを協同組合理念・原則から捉え直した会員報告が行われた。学校生協の沼尾利行主任と県職員生協の中村良子課長から報告がされた。また、宇都宮大学農学部原田淳准教授から助言がされた。また、3月4日にワーキングチームとしての報告会の内容の検討が行われた。

#### (ICA臨時総会)再掲

2012年10月30日～11月1日国際協同組合同盟(ICA)イギリスのマンチェスターで臨時総会が開催され、「協同組合の10年」に向けた計画が採択された。「2020年の挑戦」として、「経済、社会、環境の持続可能性において定評のあるリーダー、人々に最も好まれるモデル、最も急速に成長する事業形態を目指す。」として、2011～2012年を今後10年の出発点

にするとしている。

最も重要な世界の動向の例として、「環境劣化と資源枯渇、金融界の不安定性と所得格差の拡大、グローバル・ガバナンスのギャップの拡大、公民権をはく奪されているような若者世代の増加」が挙げられている。2012年の国際協同組合年を終える時期、次年度からの協同組合間の今後の連携のあり方を検討する予定。

(日本生協連関連報告) 再掲

安心して住める「福島」を取り戻すための活動について、募金及び署名について会員の取り組みを報告いただいている。

**安心して住める「福島」を取り戻すための活動  
署名 (12月27日時点)**

生協名	署名数
ブリヂストン那須グループ生協	6
栃木県職員生協	42
栃木県学校生協	504
生活クラブ生協	616
とちぎコープ	20,699
よつ葉生協	3,821
ふれあいコープ	1,092
栃木保健医療生協	155
全労済栃木県本部	325
栃木県生協連	10
計	27,270

**募金 (12月27日時点)**

生協名	金額 (円)
栃木県学校生協	50,000
栃木県職員生協	11,869
よつ葉生協	100,000
とちぎコープ	1,120,000
ふれあいコープ(お茶会時募金)	14,025
ふれあいコープ	141,430
全労済栃木県本部	30,250
栃木県生協連	30,000
計	1,497,574

### 神奈川県生協連からの要請事項

・神奈川県省エネルギー・再生可能エネルギー促進条例（仮称）の  
請願署名

栃木県生協連 11月12日、持ち回り常務理事会で確認、13日発信  
(会員のご協力)

栃木県学校生協 賛同

とちぎコープ 賛同

よつ葉生協 理事会確認・賛同

生活クラブ生協 賛同・生活クラブ連合会経由

### (行政・他団体との協働)

12月18日JA栃木女性会と生協連くらし部会との「食と農をつなげる会」が開催された。「どう変わる？どう守る！私達の暮らし」をテーマに、JA栃木中央会の藤澤部長から講演がされた。その後4つのグループに分かれて、グループごとにテーマを決て交流が行われた。テーマとしては、高齢者生活支援、組織活動、食農教育などが決められ、それぞれの組織の取り組みが話され、質問も相互にされるなど、良い交流の場となった。

12月20日とちぎ暮らし応援会の主催の大ふるさと交流集会の総括会が、ぼぼらで開催された。県内に避難されている方々からは、普段交流できない方々もあり、交流企画の継続の声が出された。

### (3) 2～4月の課題

1. 5県連合同業態研修会・実行委員会、監事・会計研修会の開催
2. 2～4月部会等活動の推進  
(職域部会、くらし部会)、(第2回災害対策交流会の検討)
3. 2～4月ネットワーク活動(食の安全ネット、消費者ネット、福祉ネット)推進  
(食の安全安心とちぎ消費者セミナーの推進、消費者シンポジウムの開催を含む)
4. ICA臨時総会を受けて栃木県実行委員会の方向性の検討
5. 栃木県生協連内の国際協同組合年ワーキングチームの活動推進
6. 安心して住める「福島」を取り戻すための活動推進
7. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣
8. 第5次中計委員会答申案の確認

(栃木県連・ネットワーク・行政・関係団体等行事の事前のお知らせ)

1. 栃木県生協連の活動予定 (1~3月)

- 1月12日(土) 11時~、お茶会、いわき市四倉工業団地仮設
- 1月15日(火) 10時~、ふれあいお茶会、特養みどり
- 1月17日(木) 17時~、東武ホテル、「賀詞交歓会」
- 2月1日(金) 10時~、福祉センター、5次中期計画委員会
- 2月12日(木) 13時30分~15時、福祉センター7階、「拡大役員研修会」  
内容予定、公正取引委員会の消費者向けセミナー

2. ネットワークの活動予定

- 1月25日(金) 13時半~、佐野市中央公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 農林水産省 大臣官房技術総括審議官 山田 友紀子氏
- 1月28日(月) 10時~、宇都宮市東市民活動センター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 高木学校 山田 千絵氏
- 1月30日(水) 10時半~、小山市中央公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 日本大学 教授 藤村 靖之氏
- 2月4日(月) 10時半~、那須塩原市いきいきふれあいセンター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」、講師 有機農業者 館野 廣幸氏
- 2月8日(金) 13時半~、矢板市生涯学習館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 農林水産省 大臣官房技術総括審議官 山田 友紀子氏
- 2月20日、14時半~、アピア、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 福島県水産試験場 場長 五十嵐 敏氏
  
- 3月11日(月) 午後予定、食の安全ネットワーク全体会(消費者セミナー)
  
- 2月2日(土) 13時半~、宇都宮大学・大学会館、「消費者シンポジウム」
- 2月7日(木) 13時半~、つくば国際会議場、「関東ブロック消費者グループフォーラム」

3. 国際協同組合年関係

- 3月4日 15時~、福祉センター、ワーキングチームとしての報告会を予定

4. 栃木県及び宇都宮市、他団体の行事参加の予定

- 2月28日(木) 13時半~、県総合文化センター、  
栃木県と宇都宮市「食品安全フォーラム」開催予定